

学力向上に向けた取組

函館市立北星小学校

1 課題

- 「わかって楽しい授業」を目ざし、個々に応じた指導方法を組織的に構築する。
- 児童一人一人の学習意欲や興味関心を高める指導方法を工夫する。

2 課題解決の具体策

- 学習の指導内容と指導体制の工夫（算数のTT加配や特別支援員の有効活用）
- 全校朝学習や全校朝読書の実施。○外部講師や教育機器を活用した授業構築。

3 取組の概要

(1) 函館市特別支援教育支援員を活用して

- ・支援員と各学年で「個別支援が必要な児童」について打合せ、TT学習の形態を計画し、児童一人一人に合った学習内容を進めている。



(2) 全学年の授業公開を行い、互いに学び合う授業研究の推進。



- ・各担任が行う公開授業だけでなく、音楽専科や栄養教諭による「食の授業」など、今年度の研究テーマ「児童に豊かな言語感覚を」に関わり「全職員で互いに勉強しよう」を合い言葉に研修を重ねた。

(3) 全校朝読書、全校朝学習の実施

- ・朝の10分間を活用し、全学年で、算数・国語の基礎的な反復学習を習熟したり、週2回を使い「全校朝読書」にも取り組み、読書好きの児童が増えてきている。
- また、図書室の環境を整えさらに本好きの児童を増やすため、知恵の予算を活用し蔵書の電算化に取り組んだ。



(4) 外国語活動におけるサポーターの活用や教育機器を活用した授業作りの工夫



- ・函館市より派遣していただいた「外国語サポーター」を活用し、5、6年生の児童の興味関心に応じた「外国語活動の授業」をたくさん行うことができた。また、併せて昨年度の「知恵の予算」を活用したスマートボードを使い各教科で立体的な授業作りも工夫できた。

4 成果と課題

- 「算数科の少人数指導に係わるTT加配」「函館市特別支援員」「外国語サポーター」等の外部講師を活用し、TT学習や個別学習を行うことができ、児童一人一人の学力や興味関心に応じた学習指導の推進ができた。
- 各種検査による客観的な評価をもとに、児童への「基礎的・基本的な知識及び技能」の習得を目指し授業改善を進めているが、数値的に十分な成果が見られない。